

宣言者 所在地 横手市大雄字田村 66-5

名 称 株式会社小松木工

代表者 代表取締役社長 小松俊晴

株式会社小松木工

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

雇用の創出や人材の定着、そして日本の伝統技術の「組子」の継承に取り組むと同時に、森林保全や地球環境へ配慮した活動を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する企業を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 初回登録年月日：R 3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☑経済 ☑社会 □環境	・ 充実した教育訓練 (若年者への直接指導や技能士検定の受験の推進) ・ 誰もが組子に挑戦 できる機会を提供 ・ ISO9001 認証取得	・ 技能士二級は、新入社員 以外全員、一級は、社員の 7 ～8 割保有) ・ 人材の定着率アップ ・ イベント等への積極的な参加 で、組子の認知度アップ	《2023→2024 年》 ●二級家具製作技能士 2 人 (全体の 1 割) ●一級家具製作技能士 7 人 (全体の 2 割) ●一級建具製作技能士 5 人 (全体の 1 割) ※直接教育・指導を行い、 引き続き受験を促し、技 能士在籍率 UP を目指し たい。 ●組子イベント 参加件数 19 件→9 件 ●組子製作体験人数 522 人→434 人 昨年のような大口注文は なかったが、「リピーターや 他者からの紹介で興味を	4、8

			持った」というケースが継続して有り。 昨年に引き続き、小中学校のものづくり体験会・ワークショップ^oに参加。(4件→5件) 今後は、近隣へ営業活動を行ったり、バリエーションを検討する予定。 ※ECサイトで組子製作^トの販売を昨年から開始 2件→2件 関東圏からの注文	
☒ 経済 ☐ 社会 ☒ 環境	・限りある資源の有効利用 ・ISO14001、FSC[®]CoC 認証取得	・正確な木取り、端材の有効利用 ・ごみの削減や分別、裏紙の利用を推進 ・仕事上で発生したごみの、リサイクル率アップ	・1週間に1回の端材の確認・整理は継続して実施。在庫はかなり減り、昨年よりも有効利用の意識化・習慣化が確認できた。 ・廃^oう、ビニール、燃える^oミほか、専用の^oミ箱を設置し、さらに仕分け例を掲示することで、^oミの分別がきちんと行われるようになった。 - 分別間違いがあった^oミについては、朝礼で全員に周知を図っている。 ・紙資料を少なくするために、^oデータ化を進めている。 ・今年一年、『整理整頓の習慣化』を目標に、作業を進めてきた。4グループに分かれ、週毎に状況の振り返り・課題設定をしてきた結果、以前よりも意識的に行えるようになり、材料の有効活用・作業の効率UPに繋がった。今後も継続してやっていきたい。	12、15

☐ 経済 ☒ 社会 ☒ 環境	・社会貢献活動の積極的な推進 ・地球環境に配慮した行動	・クリーンアップ活動の実施 ・各自マ体トルやマインアップを持参 ・最善の積み込み方を考え、必要最低限のトラック台数を確保（CO2 削減へ）	・クリーンアップ活動→4・10月実施済。 ・工場/事務所共に マ体トル・マインアップ 定着率ほぼ100%。 ・『出荷前日までの完成』を厳守するようにした結果、積込時の物・人の配置について、余裕を持つて考えることができるようになり、さらに、2024年問題でもある、積込時の待ち時間の解消 にも繋げることができた。 また、荷物積み忘れによる運送増も解消されてきた。	11、13
---	--------------------------------	---	---	-------

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	

7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	